

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

三井金属鉱業株式会社 竹原製煉所

(2) 事業所の所在地

広島県竹原市塩町一丁目5番1号

(3) 業種

鉛第2次製錬・精製業(鉛合金製造業を含む) (2321)

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25(2013)年度を基準年度とし、令和4(2022)年度～令和12(2030)年度までの9年間とする。

3 計画の基本的な方向

竹原製煉所 環境方針

当所は、金属・電池材料・薄膜材料・金属粉・化成品の生産活動及びリサイクルを通して社会に貢献することを目指します。また、環境に配慮したクリーンな事業活動で環境保護に取り組みます。

1. 環境に関する法規制および当所が同意するその他の要求事項を遵守するとともに、一層の環境改善に取り組み、環境汚染の予防に努めます。
2. 資源エネルギーおよび産業廃棄物の削減をはじめ、環境動向を勘案した環境目標を定めて、この達成に努めます。
3. 内部環境監査を実施し、環境マネジメントシステムの維持工場に努めます。
4. 地域社会との相互理解と協力関係の強化を行うとともに、社会や地域における環境保全活動に積極的に参画して参ります。
5. 環境教育、所内広報活動などを実施し、全社員の環境保全の重要性に対する理解を高め、環境全般に関する社員の意識向上を図って参ります。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成25（2013）年度	令和3（2021）年度
二酸化炭素	93,764	78,696

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
二酸化炭素	/	/

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
メタン	/	/
一酸化二窒素	/	/
その他 温室効果 ガス （HFC PFC SF6 NF3）	/	/

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成25 (2013) 年度)	削減目標		目標年度 (令和12 (2030) 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO2	93,764	38.0	35,630	58,134
非エネルギー起源CO2				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方	エネルギー起源CO2を、2030年度に2013年度比で26%（新目標検討中）の削減。 電気は中国電力(株)の実排出係数を使用。			

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 () 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和 () 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2							
非エネルギー起源CO2							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-		0.0	-	-	
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	燃料使用量の削減		<ul style="list-style-type: none"> ・ 排熱の有効利用 ・ 排熱ロス削減 ・ 燃料転換の検討
2	電気使用量の削減		<ul style="list-style-type: none"> ・ 省エネ型電気機器への更新 ・ 生産方法の条件見直し ・ 電気のムダ削減
3	その他		<ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽光発電の検討
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

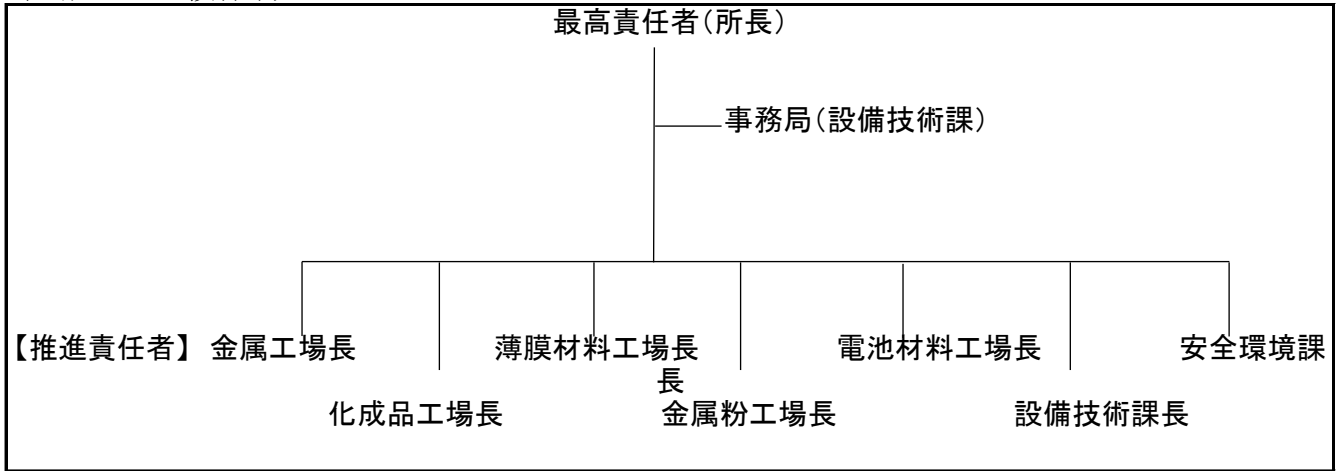
○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

設備技術課を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取組状況の把握・点検及び問題点の検討を行い、省エネ推進委員会において毎月の評価・進捗確認等を行い、継続的な活動を推進する。
また、毎年度の取組状況については、三井金属鉱業企業集団全体で情報共有し目標達成に向けた取組を促進する。

(3) 計画書等の公表

- ・省エネ推進委員会の参加者を通じ、所内で共有する。
- ・三井金属鉱業株式会社として毎年度発行する統合報告書において、進捗状況を掲載する。